



医学総合特論バイオニアセミナー

第134回実験実習支援センターセミナー

カニクイザルを用いた免疫学的研究

石垣 宏仁 先生

滋賀医科大学 病理学講座疾患制御病態学部門 准教授

日時：2023年6月26日(月) 18:10~19:50

場所：臨床講義棟 1階 臨床講義室 1
(Webによる同時配信実施)

カニクイザルは生物学的にヒトに最も近い実験動物です。本学では600頭を超えるカニクイザルを飼育しており、日本でも有数のカニクイザルを用いた研究が行える施設です。また特定の主要組織適合抗原複合体 (Major histocompatibility antigen complex; MHC) を有するMHC制御カニクイザルを飼育している点もユニークです。

本セミナーでは私がこれまで行ってきたカニクイザルを用いた免疫学的研究、①カニクイザル癌モデルの作製、②MHC一致iPS細胞他家移植によるテラトーマ発生の検討、③コラーゲン誘導カニクイザル関節炎モデル、の3つをご紹介します。またMHC制御カニクイザルを用いた研究の今後についてもお話します。

